

令和元年度 意見交換会事例集

令和2年3月

やまぐち食の安心・安全推進協議会

目 次

やまぐち食の安心・安全推進協議会とは	…… 1
本事例集の趣旨	…… 1
意見交換会の種類(例)	…… 1
意見交換会の開催の流れ(例)	…… 2
令和元年度の意見交換会（まとめ）	…… 5
令和2年度の意見交換会（個別事例）	…… 6

やまぐち食の安心・安全推進協議会とは

食の安心・安全推進条例に基づき、県、市町、食品関連事業者及び県民が連携して「食の安心・安全県民運動」を展開していくことを目的として、平成21年9月に設置しました。食の安心・安全に関する意見交換や施策等の普及啓発などに取り組んでいます。

本事例集の趣旨

本事例集は、本協議会が今年度開催した意見交換会の状況を取りまとめたもので、今後の意見交換会開催の参考とすることを目的として作成しています。

意見交換会の種類（例）

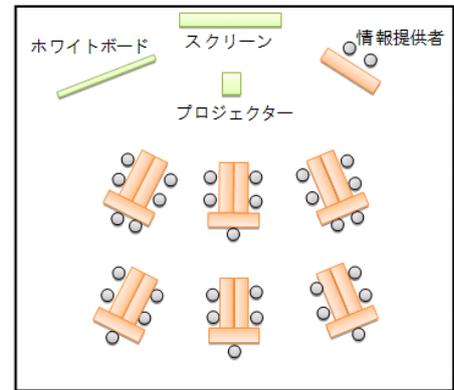
1 ワークショップ形式

参加者は情報提供を受けた後、グループ内で意見交換・討議を行い、その後、グループ発表、全体での意見交換を行い、知識・理解を深める。

（各グループに討議の進行役（ファシリテーター）を配置することが望ましい）

プログラム例（所要時間：3時間30分）

開始からの時間	内容
0:00	オリエンテーション・アイスブレイク※
0:15	情報提供（50分程度）
1:05	グループワーク（60分程度） （グループ内で意見交換・討議し、グループの考えや質問を模造紙にまとめる。）
2:05	休憩
2:15	グループ発表（20分程度）
2:35	全体での意見交換（50分程度） （グループ発表の内容及び質問について、情報提供者が回答する。その後、追加質問があれば、参加者が自由に質問する。）
3:25	アンケート記入・閉会



〈会場配置例〉

※アイスブレイク

氷を溶かすように、参加者の緊張感を和らげて、話しやすい雰囲気を作るためなどに行うもので、ゲーム形式など様々な手法がある。

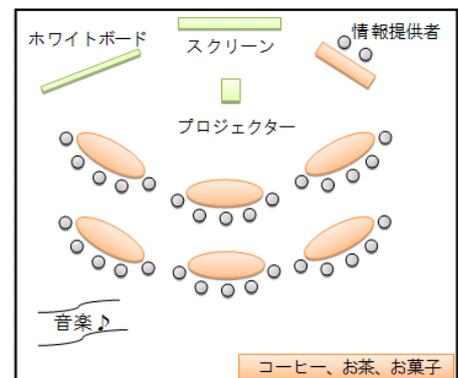
2 サイエンスカフェ及びセミナー形式

気軽な雰囲気の中で、専門家などがなるべく専門用語を使わないで情報提供を行い、参加者は質問カードなどを用いて質問や意見を自由に出し、情報提供者・参加者間で相互に意見交換しながら、知識や視野を広げる。

〔※参加者が茶菓を喫食しながら行うものをサイエンスカフェ、茶菓の提供を行わないものをセミナー方式とする〕

プログラム例（所要時間：2時間）

開始からの時間	内容
0:00	オリエンテーション
0:10	情報提供（45分程度）
0:55	質問カード記入・休憩
1:10	意見交換（45分程度） （最初に質問カードの内容について情報提供者が回答する。その後、追加質問があれば、参加者が自由に質問する。）
1:55	アンケート記入・閉会



〈サイエンスカフェ会場配置例〉

意見交換会の開催の流れ（例）

◆事前準備

- 1 開催希望団体は、意見交換会開催希望連絡票（別紙1）を生活衛生課に提出する。
 （ ・ 開催希望日の概ね2か月前までに提出すること。
 ・ 未定の項目は空欄で提出し、必要に応じて生活衛生課に相談する。）
- 2 生活衛生課は、開催希望団体と日程等を調整し、内容を決定する。
 （参加人数が少ない場合は、参加者の公募を検討する。）
- 3 開催の3日前までの参加人数がほぼ決定した時点で、開催希望団体は参加人数を生活衛生課に連絡する。
 （ワークショップの場合は、グループワーク班編制表（別紙2）により班編成を行い、ファシリテーターを設置する場合は、選定する。）

◆開催当日

- 1 開始1時間～15分前から会場設営を開始する。
 （参加者が多い場合や会場が広い場合などには、マイクを使用することが望ましい。）
- 2 概ね開始30分前から参加者の受付を開始する。
 （ ・ ファシリテーターを置く場合、打ち合わせを実施する。
 ・ サイエンスカフェ方式の場合、開始までに参加者に飲み物等の提供を行う。）

◆準備品について

開催当日に、必要に応じて以下の物を準備する。

準備品	数	準備する者
<input type="checkbox"/> パソコン	1	生活衛生課もしくは開催希望団体
<input type="checkbox"/> プロジェクター	1	
<input type="checkbox"/> スクリーン	1	
<input type="checkbox"/> 延長コード	1	
<input type="checkbox"/> マイク	2	開催希望団体
<input type="checkbox"/> ホワイトボード	1	
<input type="checkbox"/> 配布資料	参加人数分	生活衛生課もしくは開催希望団体
<input type="checkbox"/> ワークショップの場合		
模造紙	グループ数+ α	生活衛生課もしくは開催希望団体
カラーマジック	グループ数+ α	
大判ポストイット	グループ数+ α	
セロテープ	グループ数+ α	
サインペン	参加人数分	
<input type="checkbox"/> サイエンスカフェの場合		
茶菓	参加人数分	開催希望団体
質問用紙	参加人数分×3枚程度	生活衛生課もしくは開催希望団体
サインペン	参加人数分	
セロテープ	1	

(FAX : 083-933-3079 メール : a15300@pref.yamaguchi.lg.jp)

意見交換会開催希望連絡票

団体・機関名	
担当者	
電話、FAX 番号	
メールアドレス	

○意見交換会の開催希望について

開催日時	第1希望 令和 年 月 日 (: ~ :) 第2希望 令和 年 月 日 (: ~ :) 第3希望 令和 年 月 日 (: ~ :)
場 所	○開催希望施設を記載ください。施設が未定の場合は、市町単位で記載ください。 ()
テ ー マ	○いずれかを選択ください。 微生物による食中毒の予防 (ノロウイルス、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌、その他 ()) 食品表示、食品添加物、食品中の放射性物質、残留農薬、輸入食品、 遺伝子組換え食品、BSE(牛海綿状脳症)、HACCP、最近の食に関する話題、 一問一答(事前質問に回答)、事業者の自主的な取組(事業者との意見交換)、 その他 ()
形 式	○いずれかを選択ください。 ワークショップ、サイエンスカフェ、セミナー、事業所見学、 その他 ()
参加人数	○貴団体・機関からの参加人数を記載ください。 (人) ○参加者の公募について、記載してください。 公募する (人程度)、 公募しない
情報提供者	○希望があれば記載ください。 ()
そ の 他 (要望等)	

グループワーク班編制表

グループ	ファシリテーター	グループメンバー
A		
B		
C		
D		
E		

- ・各グループの人数は、5～6人程度が望ましい。

令和元年度の意見交換会（まとめ）

＜令和元年度の開催結果＞

意見交換会の開催回数	13回
参加人数	706人

＜意見交換会一覧＞

No	形式	開催日	場所	主たる共催団体	テーマ	参加人数
1	ワークショップ	5月21日	山口市	食の安心モニター	食品表示等	38
2		9月13日	山口市	地域消費者団体連絡協議会	食品添加物	21
3		9月17日	山口市	山口県立大学	食中毒予防 食品表示	10
4		10月4日	岩国市	地域消費者団体連絡協議会	食品添加物 健康食品 食中毒予防	33
5	サイエンス カフェ	2月19日	周防大 島町	地域消費者団体連絡協議会	食品添加物 食品表示	23
6	セミナー	6月28日	山口市	山口県立大学	食品添加物 健康食品	233
7		7月17日	山口市	山口県農山漁村女性連携会議	HACCP 食品表示	75
8		12月7日	山口市	山口県学校給食会	HACCP 食品表示	14
9		2月13日	宇部市	山口県農業協同組合	食品表示	120
10	事業所 見学	11月22日	下関市	食の安心モニター	食中毒予防 等	16
11		11月26日	防府市	食の安心モニター	HACCP等	27
12		11月29日	下松市	食の安心モニター	食品表示等	19
13	パネルディス カッション	11月21日	山口市	(一社)山口県食品衛生協会	HACCP等	77

意見交換会事例（ワークショップ形式）

No. 1 - 1

形式	ワークショップ形式
開催日時	令和元年5月21日(火) 13:45～15:30
場所	山口県庁 共用第3会議室（山口市）
共催団体	食の安心モニター
テーマ	食の安心モニター第1回研修会（食品表示・食品の衛生管理等）
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課
参加人数	38名（食の安心モニター）
プログラム	13:50 開会・オリエンテーリング 14:00 情報提供 「食品販売店における衛生管理及び食品表示について」 14:30頃 グループワーク・発表 15:10頃 質疑応答等 15:30 閉会
参加者の感想 （食の安心モニター 第1回定期報告より）	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップは新鮮だった。 ・グループワークで同じ地域の方とコミュニケーションがとれ、情報も収集できよかった。 ・普段、自分が良く知らずに買い物をしてきたけど、商品の表示のところには、情報がたくさんあるのだということが分かった。生活に役立てたい。 ・特にグループワークは勉強になった。各市町でも市民等に向けて開催されると良いと思う。 ・説明が長く、資料が少ないと感じた。調べる書籍等の紹介が欲しい。

No. 1 - 2

形式	ワークショップ形式
開催日時	令和元年9月13日（金） 12:30～15:00
場所	山口県庁 共用第5会議室（山口市）
共催団体	山口県地域消費者団体連絡協議会、食品安全委員会
テーマ	食品のリスクを考える意見交換会～食品添加物を題材にして～
情報提供者	食品安全委員会事務局情報・勧告広報課 山口県環境生活部生活衛生課
参加人数	21名（地域消費者団体連絡協議会 理事会参加者）

プログラム	12:30 開会・オリエンテーリング 12:35 情報提供①(食品安全委員会) 「食品安全を守るしくみと食品添加物の安全性」 13:25 情報提供②(山口県) 「食品安全確保のための山口県の取組について」 13:40 質疑応答 14:00 グループワーク 「食品安全委員会及び県からの情報提供を受けての気づき」 14:30 発表、全体意見交換 14:55 アンケート記入・閉会
準備	地域消費者団体連絡協議会 ・参加者の募集 ・ファシリテーターの選定、グループ分け 食品安全委員会 ・資料準備 山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備(パソコン、プロジェクター、スクリーン等) ・資料準備 ・ワークショップ用備品準備
参加者の感想 (アンケート結果より)	・大変良い会だった。国の方のお話しが聞けたことが特に大きい。 ・色々な方との意見交流ができた。 ・国の取組、山口県の取組をはじめて知った。 ・添加物は難しいですが、私たちの体に入る物なので、気を付けて情報をもっと取り入れたいと思った。 ・質問時間がもう少し欲しい。 ・科学的根拠がよく分からなかった。 ・具体的な例をあげて話をしてほしい。

No. 1 - 3

形式	ワークショップ形式
開催日時	令和元年9月17日(月) 9:00~12:00
場所	山口県立大学 地域共生センターセミナー室
共催団体	山口県立大学 桜の森アカデミー
テーマ	食品の安全性(食中毒予防、食品表示)
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課
参加人数	10名(桜の森アカデミー子育て支援コース受講者)

プログラム	<p>9:00 開会・オリエンテーリング</p> <p>9:05 情報提供 「食中毒予防について」 「食品の表示について」</p> <p>10:40 頃 質疑応答</p> <p>11:00 頃 グループワーク「おたよりを作ろう」</p> <p>12:00 アンケート記入・閉会</p>
準備	<p>山口県立大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の募集 ・グループ分け ・備品準備（マイク、プロジェクター、スクリーン等） ・グループワーク用備品準備 <p>山口県環境生活部生活衛生課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品準備（パソコン）
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> ・うっすらと知っていたこともあったが、それらの知識の再確認や、「これってこういうことだったのか」という新しい発見などもあって、大変興味深く、面白かった。 ・日常で疑問に思うことが質問できた。 ・改めて、消毒、清潔の大切さを感じ、学んだ。家庭を守る主婦として、勉強になった。 ・子育て支援とどう関連させて考えればよいか分かりにくかった。 ・もう少し時間があればよかった

No. 1 - 4

形式	ワークショップ形式
開催日時	令和元年10月4日（金）13:15～15:30
場所	岩国市民文化会館第一研修室
共催団体	岩国消費生活連絡会（山口県地域消費者団体連絡協議会）
テーマ	食品のリスクを考えよう～リスクアナリシスと食品の選択～
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課
参加人数	33名（岩国消費生活連絡会会員及びその招待者）

プログラム	<p>13:15 開会・オリエンテーリング</p> <p>13:20 情報提供① 「食品のリスクを考える -食品添加物の場合といわゆる「健康食品」の場合-」</p> <p>情報提供② 「HACCP 方式で考える！家庭での食中毒予防」</p> <p>15:00 頃 グループワーク 「家庭でできる食中毒予防を考えてみよう」</p> <p>15:20 頃 発表、意見交換</p> <p>15:30 アンケート記入・閉会</p>
準備	<p>岩国消費生活連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の募集 ・備品準備 (マイク、プロジェクター、スクリーン等) <p>山口県環境生活部生活衛生課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品準備 (パソコン等)

意見交換会事例(サイエンスカフェ方式)

No. 1 - 5

形式	サイエンスカフェ形式
開催日時	令和元年2月19日(水) 10:30~11:45
場所	しまとびあスカイセンター ホール
共催団体	周防大島町消費者連絡会 (山口県地域消費者団体連絡協議会)
テーマ	「食べ物のリスク」と食品の選び方
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課
参加人数	23名 (周防大島町消費者連絡会会員)
プログラム	10:15頃 茶菓の提供 10:30 開会・オリエンテーリング 10:35 情報提供「食品のリスクについて-食品添加物の場合-」 11:00 質問カード記入・回答 11:15 情報提供「食品表示について」 11:45 閉会・アンケート記入
準備	周防大島町消費者連絡会 ・茶菓の準備 ・参加者募集 ・会場準備 ・備品準備 (マイク、プロジェクター、スクリーン 等) ・資料準備 山口県 ・資料準備
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> ・添加物はずーっと不安であったが、いろいろの知識をちゃんと勉強して、楽しく、賢く買い物をしようと思った。 ・専門的な部分もあったので、一般的にはどのように考えればいいのかの説明が欲しかった ・説明はおおかた理解できたが大変難しいところもあり、もう少し勉強がしたいと思った。時間的に少なかった。 ・食品添加物は口に入る物だからしっかり学んで食したい。むずかしいので、たびたび、繰り返しお話を聞く必要がある。また機会があったらお話を聞きたい。今日はある程度理解した。

意見交換会事例（セミナー形式）

No. 1 - 6

形式	セミナー形式
開催日時	令和元年6月28日(金) 10:25～11:55
場所	山口県立大学
共催団体	山口県立大学
テーマ	食べ物のリスクを考えよう～リスクアナリシスと食品の選択～
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課
参加人数	233名（山口県立大学「科学と社会」受講学生）
プログラム	10:25 開会、オリエンテーション 10:30 情報提供 「食べ物のリスクについて-食品添加物と健康食品-」 11:30頃 質疑応答 11:55 閉会
準備	山口県立大学 ・参加者募集 ・会場準備 ・備品準備（パソコン、プロジェクター、スクリーン等） ・資料準備
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> ・食品添加物について、もっと体に悪いものと思っていたが、意外と根拠がある感じだということが分かった。 ・知らない単語がたくさんあって難しく感じたけど、新たに知ることあつてとてもタメになったし、自分の食品への見方も変わった。 ・大学生になってから一人暮らしを始めたので今回の講義はためになった。ネット等で食品の様々な記事が出ているが、それらの情報をうのみにせず、自分の頭でしっかり考え判断することが大切だと感じた。

No. 1 - 7

形式	セミナー形式
開催日時	令和元年7月17日(水) 14:45～15:50
場所	カリエンテ山口
共催団体	山口県農山漁村女性連携会議
テーマ	食品表示、HACCPについて

情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課
参加人数	75名 (やまぐち農山漁村女性起業ネットワーク交流会会員及び関係者)
プログラム	14:45 情報提供 「新しい食品表示について-栄養成分表示を中心に-」 「HACCP に沿った衛生管理の制度化と山口県の実践について」 15:40 頃 質疑応答 15:50 閉会
準備	山口県農山漁村女性連携会議 ・参加者募集 ・会場準備 ・備品準備 (パソコン、プロジェクター、スクリーン 等) ・資料準備

No. 1 - 8

形式	セミナー形式
開催日時	令和元年12月7日(水) 15:00～17:00
場所	山口グランドホテル
共催団体	山口県学校給食会、山口県パン工業組合
テーマ	食中毒予防、HACCP、食品表示について
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課
参加人数	14名 (山口県パン工業組合員等)
準備	山口県パン工業組合 ・参加者募集 ・会場準備 ・備品準備 (プロジェクター、スクリーン 等) 山口県生活衛生課 ・備品準備 (パソコン) ・資料準備

No. 1 - 9

形式	セミナー形式
開催日時	令和元年2月13日(木) 第1部 10:30～12:00 第2部 13:30～15:00
場所	JA 山口県宇部統括本部3階大会議室

共催団体	山口県農業協同組合
テーマ	食品表示について
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課
参加人数	約120名（宇部統括本部管内 生産者等）
準備	山口県農業協同組合 ・参加者募集 ・会場準備 ・備品準備（パソコン、プロジェクター、スクリーン 等）

意見交換会事例(事業所見学)

No. 1 - 1 0

形式	事業所見学
開催日時	令和元年11月22日(金) 13:30～15:30
場所	国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産大学校
共催団体	食の安心モニター 国立研究開発法人水産研究・教育機構水産大学校
テーマ	食中毒について等
参加人数	15名(食の安心モニター)
情報提供者	水産大学校食品科学科准教授 古下学氏
プログラム	<p>13:30 開会・オリエンテーリング</p> <p>13:35 情報提供「食中毒のはなし」</p> <p>〔 サバを用いたアニサキスの見学 ATP 拭き取り検査による手洗い効果の実施 〕</p> <p>15:00 頃 食品加工工場見学</p> <p>15:15 頃 質疑応答</p> <p>15:30 閉会・アンケート記入</p>
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> ・サバにいるアニサキスを、実際にサバを使って見せていただけて良かった。 ・専門家の話が聞けてとてもよかった。 ・手洗いの大切さや生食の怖さなど、日頃「これくらい大丈夫」と思うことをきちんと気をつけてしないと危ない場合もあるということが分かった。

No. 1 - 1 1

形式	事業所見学
開催日時	令和元年11月26日(火) 11:00～13:00
場所	株式会社四季彩
共催団体	食の安心モニター、株式会社四季彩
テーマ	HACCPによる衛生管理について
参加人数	26名(食の安心モニター)
情報提供者	株式会社四季彩専務取締役管理本部長 松尾政実氏

プログラム	11:30 開会・オリエンテーション 11:35 情報提供 12:00 頃 工場見学（終わり次第お弁当の試食） 12:30 頃 質疑応答 13:00 閉会・アンケート記入
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> ・ HACCP の試みをはやくから取り入れていたことを知り、企業努力がよく理解できた。 ・ 衛生管理がよくできていて安心して食すことができると関心した。 ・ 詳しい説明で会社の取組がよく理解でき、消費者に寄り添って頂いていると思った。 ・ 研修会に来て、企業の取組を見ることにより、食の安心・安全を感じることができた。周りの人にも伝えていきたい。

No. 1 - 1 2

形式	事業所見学
開催日時	令和元年11月29日(金) 13:30～15:30まで
場所	山口県周南総合庁舎7階 701会議室 ゆめタウン下松
共催団体	株式会社イズミ
テーマ	食品販売店における衛生管理及び食品表示について
参加人数	15名（食の安心モニター）
情報提供者	株式会社イズミ社員
プログラム	13:30 開会・オリエンテーション 13:35 情報提供 「イズミにおける適正な衛生管理及び食品表示の取組み」 14:50 頃 ゆめタウン下松店舗見学・質疑応答 15:30 閉会
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務に携わっている方の現場の取組を聞き、勉強になった。 ・ (株)イズミの衛生管理、食品表示適正化への取組についてのお話、店舗での店長さんのお話も良かった。

意見交換会事例(パネルディスカッション)

No. 1 - 1 3

形式	パネルディスカッション
開催日時	令和元年11月21日(木) 13:45~14:50
場所	山口市民会館 小ホール
主催団体	(一社)山口県食品衛生協会
テーマ	HACCP、自主回収、食品表示、食中毒予防 等
コーディネーター	山口県立大学看護栄養学部栄養学科教授 人見英里氏
パネリスト	○消費者代表 山口県地域消費者団体連絡協議会 山口県消費者団体連絡協議会 ○事業者 (一社)山口県食品衛生協会 ○行政 山口県環境生活部生活衛生課
参加人数	77人